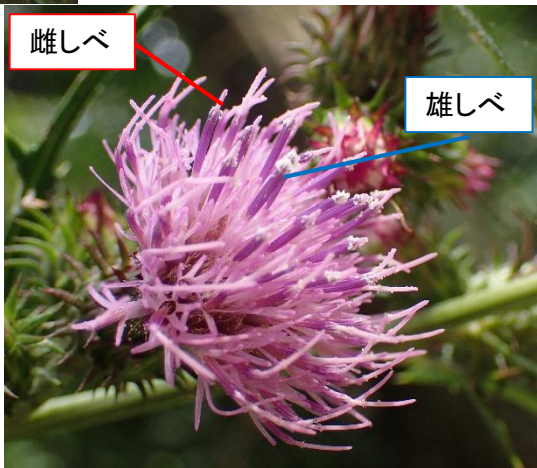


タイアザミ(トネアザミ) キク科

山地の林のふちや土手などに見られる多年草。関東地方では最も普通に見られるアザミ。

茎の先に2〜3cmほどの紅紫色の花を咲かせる。葉の先は鋭く尖り、ふちには太く長い棘がある。

園内の花期は8月下旬から11月上旬頃まで。



花をよく見ると、筒状の小さな花が密生している。

昆虫が触れるなどで雄しべが刺激されると、先端から花粉を出す。その後、雄しべの筒から雌しべの花柱が突き出てくる。

雄しべと雌しべの時期をずらし、自家受粉を防ぐ仕組み。

園内のいたるところで咲くため、秋の昆虫にとって絶好の蜜源となる。



アサギマダラ



ツマグロヒヨウモン



ホシホウジャク



ハラナガツチバチ